

# 施政概要(案)

平成27年第2回(6月)市議会定例会

四街道市

※ 予定事項等が含まれていることや5月26日時点の内容である  
ことから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。



## 【はじめに】

本日、ここに、平成27年第2回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、地方創生の推進については、「四街道市人口ビジョン」及び「四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、5月に「まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置し、施策の具体的な方向性について庁内の調整を図っているところです。また、6月には市民や産業関係、金融機関その他の各分野から広く意見を聴取するため、有識者も含めた「四街道市まち・ひと・しごと創生推進協議会」を設置し、本年中の策定を目途に作業を進めてまいります。

地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用した事業については、地域における消費喚起のため、商工会が実施する「四街道市プレミアム付商品券事業」に対し補助を行い、本日6月1日から商品券の申込受付が開始されたところです。低所得の子育て世帯を支援する「生活支援商品券事業」は、7月1日からの申請受付開始に向けて準備を進めています。

また、若い世代の子育て環境の充実を図るため、幼稚園の夏季休業期間における一時預かり保育及び幼稚園等に対する防災資器材購入の補助制度導入に向け、現在、関係団体と協議を進めています。

ごみ処理施設については、一昨年度来、現施設の継続操業についての協議のお願いをみそら自治会及び山梨地区に対し行ってまいりましたが、みそら自治会からは3月12日付けで、市からの継続操業の協議に応じないとの回答をいただきました。このため、市では3月23日付けにて4月1日以降の操業継続についてお詫び申し上げるとともに、みそら自治会が求める現施設の速やかな移転についての期間設定等や補償内容についての協議を依頼いたしました。その後、新たなみそら自治会役員が就任し、交渉会を5月3日から開始したところです。また、山梨地区からは3月25日付けで地区の総意として取りまとめできないため、回答を一時保留するとの回答がありました。

災害対応・防災対策については、和良比地区において、災害時には避難所として活用できる地域防災拠点施設を併設する防災備蓄倉庫の建設に向け準備を進めています。

社会保障制度については、生活困窮者の自立に向けた相談支援や就労支援を行うため、4月1日から生活困窮者自立支援事業相談窓口を設置し、その名称をくらしサポートセンター「みらい」としました。4月における相談件数は、30件となっています。

シティセールス推進体制の整備については、本日6月1日からシティセールス推進課長職を任期付職員として公募を開始しました。民間企業等で培った広報、マーケティング等に関する経験とスキルを有する人材を登用することで、より効果的かつ積極的な本市のシティセールスを展開してまいります。

住環境の整備については、「住生活基本計画」の本年度策定に向け、7月には住生活基本計画策定検討委員会の開催を予定しており、空き家等対策と合わせて検討を進めています。

総合教育会議については、5月22日に第1回目の会議を開催し、会議の運営要綱を定めるとともに、教育に関する大綱について意見交換を行いました。

全国一斉に実施される国勢調査については、調査の円滑な実施に向け、4月に実施本部を設置し、10月1日の調査期日に向けて準備を進めているところです。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

## 【分野別の施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」  
の分野でございますが、子ども家庭支援については、和良比地区で整備が進められていました民間保育園が4月に開園したことにより、市内の保育所の定員が60人増加し、市内認可保育所の定員は935名となりました。また、待機児童対策の一つとして、昨年度大幅な拡充を実施した認可外保育施設入所児童保護者助成制度については、本年度、第1四半期分の申請受付を6月15日から行います。今後も、本制度が有効に活用されるよう周知を図ってまいります。

高齢者支援については、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、小規模多機能型居宅介護事業所が、5月1日に旭ヶ丘地区で事業を開始しました。

障害者支援については、28年度から37年度までを計画期間とする「第4次障害者基本計画」の策定に向け、障害のある人へのアンケート調査を予定するなど、課題やニーズに対应的確に対応できるよう策定作業を進めています。また、聴覚障害者等の意思疎通支援の充実を図るため、手話奉仕員養成講座を昨年度に引き続き実施しています。

地域福祉については、28年度から32年度までの5か年を計画期間とする「第2次四街道市地域福祉計画」の策定に向け、市民アンケート調査を予定するなど、市民の皆様の意見を反映させながら策定作業を進めています。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」の分野でございますが、防災・減災については、災害情報や避難情報などを迅速にお知らせするため、4月1日から携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」の運用を開始しました。

防災都市基盤の強化では、四街道雨水幹線の溢水軽減策として、文化センター駐車場に設置する雨水地下貯留施設に係る整備工事の発注準備を進めています。

消防・救急については、増加する救急需要に対応するため、千代田分署の高規格救急自動車の更新整備に向け、諸準備を進めています。

また、消防団については、6月28日に印西市で開催されます「第35回千葉県消防協会印旛支部消防操法大会」に向け、本市代表として出場する第4分団及び第17分団が訓練に励んでいますので、皆様の応援をお願いします。

基本目標3「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」の分野でございますが、子ども教育については、児童生徒の「思いやる心 強い心 自尊感情」の育成のため、「命の教育」を引き続き推進しています。

また、本年4月1日に施行された「四街道市いじめ防止対策推進条例」に基づき、第1回四街道市いじめ対策調査会を6月2日に開催し、いじめ防止基本方針の策定に向けた協議を進めてまいります。

教育環境の整備では、相談支援体制の充実を図るため、県から派遣されているスクールカウンセラーのほか、本年度も引き続き2名のスクールカウンセラーを市単独で市内小学校2校に配置しました。

施設関係では、各小中学校の空調設備設置工事の財源である国の交付金が不採択となったことから、事業内容、実施方法、財源などを含め設置手法の検討を行っています。また、千代田中学校、旭中学校及び四街道西中学校の武道場改築工事の発注準備を進めています。

青少年健全育成では、原因や背景が複雑で多様化しているいじめ、不登校、児童虐待等について、主に福祉面での専門的な視点で問題の解決に携わるスクールソーシャルワーカーを配置し、有効に活用されるよう関係機関と連携し、諸問題の解決に努めています。

生涯学習については、旭公民館及び千代田公民館において、ホール吊り天井の改修工事に向けた、契約の準備を進めています。

基本目標4「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」  
の分野でございますが、循環型社会については、リサイクル率の向上を図るため、小型家電のリサイクル回収として、先行して実施した拠点回収に加え、4月からは不燃ごみからのピックアップ回収も開始しています。また、併せて廃食油についても、リサイクル回収を開始しています。

住環境については、栗山みどりの保全事業において散策路の整備が完了し、「たろやまの郷」が5月1日に全面供用を開始しました。事業地内での自然観察会や復元した水田での田植え体験を実施し、今後の維持管理についても引き続き市民の皆様との協働で進めてまいります。

生活基盤については、市内の排水対策の推進を図るため、大日富士見ヶ丘3号線ほか5路線の道路排水施設整備及び東部排水路ほか2路線の排水路整備の発注準備を進めています。

下水道の整備・充実では、下水道長寿命化計画に基づく老朽化対策工事の発注に向け準備を進めています。

水道事業では、安定した給水と安全性を確保するため、栗山地先ほか1か所において、老朽管の更新などの配水改善工事を発注しました。

基本目標5「にぎわいと活力にあふれるまち」  
の分野でございますが、道路・交通については、都市計画道路3・3・1号山梨臼井線において、引き続き用地取得に努めるとともに、橋脚工事を進めているほか、道路改良工事の発注に向け準備を進めています。

大日五差路の交差点改良事業では、引き続き用地取得に努めるとともに、取得用地部の工事発注に向けて準備を進めています。

交通環境の整備では、社会資本整備総合交付金を活用した舗装修繕工事及び和良比交差点の道路改良工事の発注準備を進めています。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、厳しい組合運営ではありますが、引き続き工事概成に向けた区画道路等の整備を促進してまいります。物井特定土地区画整理事業では、都市計画道路や調整池等の公共施設整備を促進してまいります。

また、四街道駅北口広場の再整備工事の実施設計及び地質調査の発注準備を進めています。

産業については、中心市街地と商業の活性化を促進するため、空き店舗等の活用に対し支援を行う「空き店舗等活用事業補助制度」において、1件の交付決定を行いました。

基本目標6「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」

の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」の提案事業として、2月に採択された18事業に対し、各団体への補助金交付等の手続を進めています。

シティセールスについては、「ドラマチック四街道プロジェクト」が、今年の全国広報コンクール広報企画部門において、「日本広報協会会長賞」を受賞しました。全部門において、千葉県内で入選した作品は本市のみとなっており、引き続き市の魅力発信に努めてまいります。

行財政運営については、下水道事業の公営企業法適用に向け、引き続き資産調査及び関係例規の整備を進めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年6月1日

四街道市長 佐 渡 斉